



松茂良慎さんの作品「あゆみさん」アートキャンプ 2006出典作品

目次

- ② 特集【報告】地域の福祉力アップセミナー2008
- ④ 社会福祉法人の経営改善へ向けて取組んでいます！
- ⑤ 県内市町村社協におけるミニデイサービス事業の取り組み
- ⑥ 沖縄県共同募金会より
- ⑦ シリーズ活動最前線「スマイル☆らんど」福祉施設経営相談Q&A
- ⑧ ほっとニュースTOPICS
- ⑩ 生活福祉資金貸付制度
- ⑫ 福祉の職場説明・面接会を終えて
- ⑬ 介護支援専門員実務研修受講試験結果発表
- ⑭ 県民児協広報「ぶくらしゃ」
- ⑯ INFORMATION

「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部として共同募金配分金を使用させていただいております。

3/8 (土)

市民・民間救急患者搬送セミナー開催

救急車が足りない！

全国的に救急車の出動件数及び搬送人員は右肩あがりに増加しており、救急車の不足が問題となつています。その要因の一つとして、緊急性のない救急要請が増加している点があり、必要性の高い傷病者への救急出動に支障が出る事態も生じてきています。このような中、民間の手により緊

急性のない者を搬送する「民間患者搬送事業」が注目を集めています。これは、道路運送法上の許可を持つ事業所が、管轄消防本部の認定を受け実施するもので、その担い手の一つとして福祉関係の団体が期待されています。

ホントにおすすめの本

『発達と障害を考える絵本☆ふしぎだね?!』



図書情報

発行所/ミネルヴァ書房
価格/1,890円(税込)
注文先/県社協総務部・図書係
TEL:098-887-2000

- 1. 自閉症、2. アスペルガー症候群、3. LD(障害学習)、4. ADHD(注意欠陥多動性障害)、5. 知的障害、6. ダウン症、7. 身体障害、8. 言語障害

以上の8シリーズは刊行済み。

子どもが「なぜそんな行動をとるのか?」「どう対応したらいいのか?」などいろんな視点からわかりやすく紹介しています。障害の解説はもちろん、本文はオールカラーで子どもでも理解できるようにすべての漢字にふりがなをつけ、イラストを多用しているなど障害を知るために工夫されています。発達障害者についてもっと知りたい人へ役立つおススメの絵本です。

寄付・寄贈者芳名

- 嘉手川義男 様
- 伊是名寿男 様
- 沖縄電気工業組合 様
- 沖縄県建築設計事務所協会 様
- 沖縄県軍用地等地主会連合会 様
- 住友生命保険相互会社沖縄支社 様
- 株式会社サン食品 様



- このたび、市民・民間救急について考えるセミナーを開催します。関心のある方ならどなたでも参加いただけます。
- ▼主催 日本NPO救急搬送連合会
- ▼協力 沖縄県社会福祉協議会
- ▼日時 3月8日(土)
13時~16時45分
- ▼会場 宜野湾 フェストーネ
- ▼参加費 無料
- ▼定員 200名
(事前申込必要。先着順となります)
- ▼問い合わせ先 県社協地域福祉部

表紙の絵



松茂良 慎さん
タイトル「あゆみさん」

養護学校を卒業後、社会就労センターにわかつてに通い、大好きな製菓作りの毎日を送る松茂良慎さん。表紙の作品は、養護学校時代に友人のあゆみさんを描いたもので、第2回目のアートキャンプに出展したものだ。人物の特徴を捉えるのが上手だと、わかたけのスタッフが教えてくれた。わかたけでは、販売用のクッキーやマフィンの種づくりを任せられ、材料を混ぜ合わせる作業も決められた手順に沿って、一人でテキパキとこなしている。

編集後記

本紙では、福祉サービスを利用していらっしゃる方々の絵画を表紙に掲載しています。掲載希望の作品がありましたら、ぜひご紹介ください。また、地域での福祉活動や草の根的な取り組みなど、取材の依頼や本紙へのご意見・ご感想がありましたら、お気軽にご連絡ください。
(県社協・企画広報部)

去る2月8日(金)、県総合福祉センターゆいホールにおいて、「地域の福祉力アップセミナー2008」が開催された。(主催/沖縄県社会福祉協議会)

◎セミナーの目的

本セミナーは、地域住民の自発的、主体的な参画による新たな支え合い活動を推進し、本県の福祉文化を形成していくことを目的に昨年度に引き続き開催しているものである。

地域の福祉力とは、福祉の専門職や地域住民が協働し、地域の多様な福祉課題等に対して、情報を共有し、共感し合いながら、地域の多様性や異質性を受け入れ、活動を作り出し、地域のありようを構想していく力である。

今回のセミナーでは、格差社会といわれ、生活のしづらさを訴える住民の声の高まりを貧困問題とおしえて考え、専門職からの情報提供やきっかけ作りを必要とする、比較的住民による自発的な取組みが難しい課題をテーマに開催された。

第1部 講演
貧困問題との対峙
どこからも漏れる人たちの支援を考える



▲講師の湯浅誠氏
(NPO法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長)

◎多様化する相談事例

湯浅氏の所属する団体では、生活に困った人からの相談を受け付けている。従来は、日雇い労働者や母子世帯など古典的な貧困層とする人びとからの相談が主だったとのことであるが、最近の傾向としては世帯構成や性別、年齢を選ばず、一つの力テグリーでは括れない相談事例が増えており、多様化しているという。これは、日本全体が貧困化しているということだと湯浅氏は話す。

◎三層のセーフティネットから落ち

ていく人々の「溜め」のない状態

私たちは、雇用のネット、社会保険のネット、公定扶助のネットの三層のセーフティネットで守られている。しかし、今、その三層のネットがぼろぼろになって、このセーフティネットから抜け落ちて行く人が増えている。しかも、この三層に張り巡らされたネットは、3つで1セットになっていとも言われ、派遣労働者などの非正規雇用者は、失業のリスクが高く、雇用のネットから落ちやすいが、社会保険ネットの一つである失業手当が受給できない場合が多く、最後の公的扶助のネットでも生活保護においても、若いからまだ働けるから等と受け止めてもらえないことが多いのだという。若者の貧困が増えているのは、社会の構造がそうなっているからで、驚く事ではないと湯浅氏は説明する。

では、この網から漏れた人々が全て貧困状態になるかというと、そうではない。貧困に陥るかどうかの分かれ道は、彼らを支えられる家族がいるかどうかだという。家族福祉が

て、野宿生活にあった人との関係が途切れ、部屋で一人生活する場合、金銭的な「溜め」は増えても、人間関係の「溜め」は減ってはいないか。全体的な「溜め」の状態を見ることが大切なのだという。

当事者のエンパワメントは、当事者とフラットな関係で支えることの出来る民間の役割で、社会資源の充実は、公的機関の役割として充実させていかななくてはならない。

しかし、現在、相談者に合せて社会資源をつなぎ、コーディネートする役割を担う人が、どこの部署にもいないのが実情だ。縦割り行政の中で結局、たらい回しになり、どこからこぼれ落ちてしまう人びとが出てくるのは、コーディネーター不在という問題が大きいと湯浅氏は訴えた。

第2部 実践報告
孤立した人びとへの支援について

◎実践報告1

「二トと呼ばれる若者への支援活動から」

上江田 紫寿江 氏
沖縄県には、2万5千人の二トがいるといわれ、二ト率が全国一で深刻な問題となっている。卒業や中退で学校を離れた後、職業生活に

◎実践報告2
「ホームレス自立支援活動から」

山内 昌良 氏

県外からの移住者も増え、沖縄県のホームレスが増加傾向にあるという山内氏。以前は、ホームレスのいる公園というのは、限られた公園であったが、最近では那覇市や浦添市においては、ほとんどの公園で彼らを見る事ができ、ホームレスの生活の場が分散傾向にあるという。

山内氏が代表を務めるプロミスキーパーズでは、公園を回り彼らに声をかけながら、飲食物を提供して

◎実践報告3

「支え合いマップづくりから見える地域支援」

高野 大秋 氏

高野氏は、地元の民生委員や地域相談センターの職員と共に、地域の中で福祉的な問題を抱えるいわゆる気になる人や地域から孤立している



▲実践報告を行う (左から) 上江田氏、山内氏、高野氏

いる。昨年9月には、西原町に宿泊場所を設け、51名が生活しているという。彼らへの自立支援として、資源ゴミの回収や分別作業を通じ、社会復帰へのリハビリ活動を行ったり、就職先の開拓を行っており、これまでに20名が就職や家庭復帰した。山内氏は、少しだけ誰かが力を貸すことによつて、多くの人びとが社会復帰できるとし、今後は、行政とも協力しながら、ホームレスの自立支援を行っていききたいと報告した。

◎生活困窮者の「溜め」を大きくしていくために

もやいでは、生活困窮者からの相談を受けたり、アパートの保証人になるなど、社会資源の充実に努めると共に、当事者がランチを食べに来るサロンを開き、「居場所」づくりを行い、当事者のエンパワメントを落している。この社会資源の充実に当事者のエンパワメントは、生活困窮者の「溜め」の拡大において、車の両輪であり、どちらか一方だけではダメだという。

例えば、生活保護を受給してアパート暮らしを始めた野宿者にとつ



▲講師の話にじっくり耳を傾けるセミナー参加者

人と地域住民のことを良く知っている世話好きな人を押し、それぞれの繋がりを矢印で地図に書き込んだ支え合いマップづくりを行っている。

近隣住民との付き合いが苦手な地域の中で孤立している人に対しては、本人の想いを引き出しながら、その想いを実現する協力者・世話好きな方を地域住民の中から見つけ、つなげていくことが必要だという。

高野氏はこのつなぎ役のコーディネーターが社協職員の役割であるとし、気になる人、孤立する人のニーズを解決するキーマンを民生委員や社協職員だけで担うのではなく、地域の色々な分野の世話好きさんを結びつけ、支援する側とされる側ではない、住民同士による双方向の支え合いの輪を作ることが、地域の福祉力アップにつながっていくのではないかと報告した。

社会福祉法人の経営改善へ向けて取り組んでいます！

課題解決へのカギは経営者と職員がともに考える機会をもつことから、沖縄県経営協「経営改善プログラム」モデル事業の報告

介護保険制度の改正・障害者自立支援法の施行、多様なサービス供給主体の参入：今社会福祉法人経営を取り巻く環境は大きく変化しています。経営者・職員が同じ目標（理念）に向かい利用者から望まれる質の高いサービスを提供し続けるためには、組織の活性化や改善が必要不可欠だといわれています。

こうした中、全国社会福祉施設経営者協議会（全国経営協）は、会員法人の「自発的な経営改善への取り組み」を支援する「経営改善プログラム（経営改善支援事業）」を開始しました。沖縄県では、本プログラムの効果や課題を探るべく、平成18年度からモデル事業へ取り組みました。

モデル事業実施法人 18～19年度

※会員の中から公募により決定

- ① 基督教児童福祉会 愛隣園（児童養護施設／知的障がい者授産）
- ② 沖縄県身体障害者福祉協会（身体障がい者授産施設）
- ③ たまん福祉会（知的障がい者授産施設）

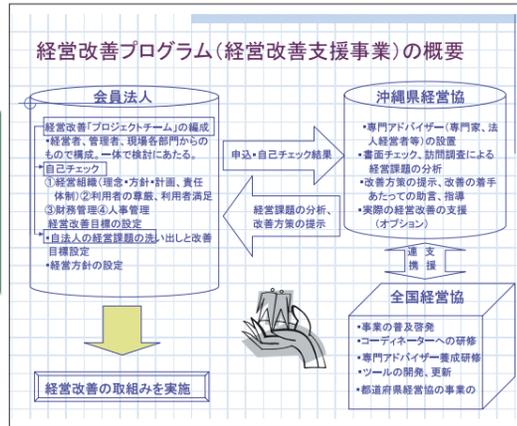
県内市町村社協におけるミニデイサービス事業の取り組み

ミニデイサービス事業運営管理に関する状況調査の概要

高齢者等が地域でいきいきと暮らすための制度や施策は、介護保険制度施行以降、めまぐるしく変化し、進展してきている。このような中、市町村社会福祉協議会では、公的なサービスのみではなく、地域住民が主体となって展開しているふれあい・いきいきサロンやミニデイサービス、見守り活動など、小地域での福祉活動を推進している。今回、その中でも、地域の活動拠点として期待の高まっている、ミニデイサービス事業について、各市町村社協を対象に「運営管理に関する状況調査」を実施したので、概要を紹介する。

☆市町村社協によって異なる運営体制

ミニデイサービス事業を実施している、若しくは、側面的に支援（サポート）している社協は、県内33市町村であり、県内全域で635カ所の地域で実施されている。1カ所のみ開催している市町村もあれば、多い市町村では、公民館などを活用し、83カ所で開催している地域もある。市町村によって、財源確保の状況、



① 経営者および職員で構成されるプロジェクトチームをつくる

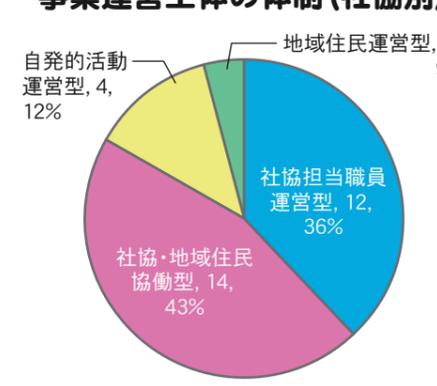
本プログラムは、このプロジェクトチームの編成からスタートします。とすると、「経営」を考えるのは経営者のみだとする考え方から一歩進んで、組織全体で理念や今後の方向性について考える機会をもつという視点です。

② 組織の「強み」「弱み」についてメンバー間で共通理解を図る

チーム編成を終えたら、いよいよ自己評価（チェック）を開始します。プロジェクトチーム全体で調査票（チェックリスト約190項目）のチェックを実施し、その評価の過程でメンバー間の共通認識を図っていきます。併せて社会福祉法人に不足しがちだといわ



事業運営主体の体制（社協別）



社協担当職員の体制、ボランティア・地域住民との関わりなど、様々な運営体制があるが、調査するにあたり、主な運営体制について、次のとおり4つの区分を行った。

① 社協担当職員運営型
社協担当職員のみで事業を実施している。

② 地域住民運営型
事務運営は社協がサポートするが、事業実施時には社協担当職員が、事業実施時には社協担当職員が、事業実施時には社協担当職員のみで事業を実施している。

③ 社協・地域住民協働型
社協が事務運営をサポートし

れている「自己評価（チェック）機能」を高めることを目的としています。

共通点・・・Checkが欠けている！

要するに、そもその問題はこれか！

Plan Do Check Action

資料提供：社会保険労務士江尻事務所

③ 今後の改善目標を設定する

この後、いよいよ浮かび上がった課題を解決するために必要な「改善目標の設定（調査票1）」作業へ移ります。

ここでは、法人組織内だけではなく、外部環境（市場経済・制度の動き等）も視野に入れ、今後の中（長期計画）を作成していきます。

④ 専門的な立場からアドバイスを獲得

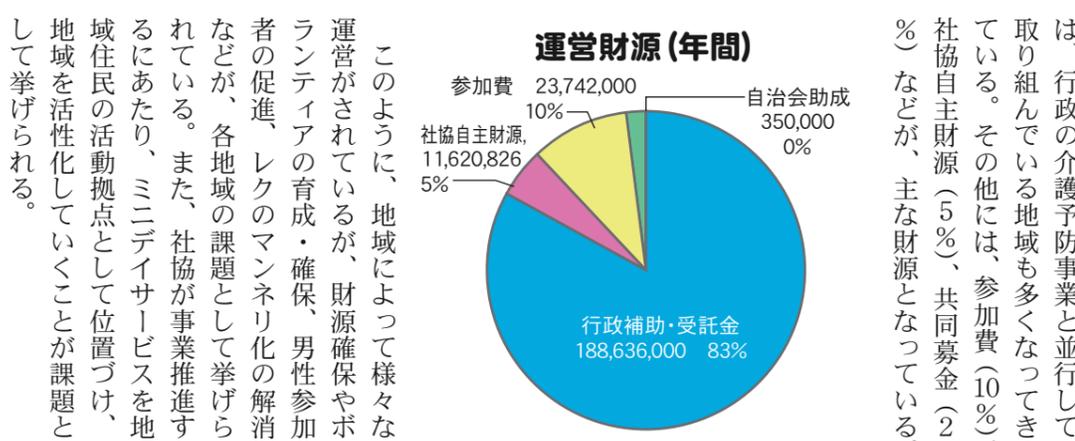
ここまでの調査票作成が終了した所で、専門アドバイザーの登場です。専門アドバイザーは、弁護士・公認会計士・税理士・社会保険労務士で、提出された調査票をもとに訪問調査（ヒアリング）を実施しそれに基づき「改善方策」の策定を行います。

☆地域活性化の活動拠点として・・・

参加対象も、地域によって異なるが、比較的「地域に住んでいる60歳以上、または65歳以上、自分で会場まで来ることが出来る高齢者」を対象にしている市町村が多く、中には、高齢者、障害者など幅広く受け入れている地域もある。

全体的に、月1～2回開催（79%）している地域が多いが、地域によっては、週に1回開催（20%）している地域もあり、多いところでは、週に3回開催（その他1%）している地域もあった。

また、開催場所については、ほとんどの地域が地域の自治会などの協力を得て、公民館や集会所を活用（94%）している。その他にも、学校の空き教室や民家なども活用（4%）されており、地域と協働により支えられている。また、離島など小規模な町村においては、福祉センター（2%）を拠点としている地域



あくまでも法人の自発的な取り組みが中心ですが、その解決にむけて専門的な立場から現状と課題を整理し解決に向けた優先事項等について助言を行います。

※STEP3 オプションサービス
法人の具体的な取組みを実施する中で専門アドバイザーが引き続き関わる場合は「オプションサービス（有料）」となります。

本プログラムは、法人が自己評価（チェック）を繰り返し行うことが可能で、これにより経営者・職員の意識改革を生み出し、法人の課題解決に向けた組織力の向上を目指します。社会福祉法人経営を取り巻く現状において、今ある資源（職員・ハード面・サービス等のソフト面を含めて）をいかに活用してこの厳しい時代を乗り切ることが出来るのか。今一度、これまでの理念（目標）をみつめ直し、組織が一丸となって取り組む時期に来ているといえます。

沖縄県経営協では、平成20年度（4月～9月）もモデル事業を予定しており、現在協力法人（今回は「老人」および「保育」関係法人を予定）を募集しております。

会員法人の皆様の積極的な参加・ご意見等をお待ちしております。

県民皆様の温かい善意
あじがとつごいままいました。

毎年、12月1日から31日までの間
実施しています。歳末たすけあい運動
につきましては、平成19年度も「みん
なでささえあうあったかい地域づく
り」をスローガンに、沖縄県共同募
金会及び各市町村共同募金会（支会・分
会）、NHK沖縄放送局、沖縄タイム
ス社、琉球新報社、関係金融機関等の
皆様にもご協力をいただき一斉に展
開されました。

沖縄県共同募金会に集まった寄付
金品は、79万9千円（1月25日現在）寄
せられ、12月26日に各市町村社会福
祉協議会及び沖縄県共同募金会を通
して、運動の趣旨にそって小規模共
同作業所等（60ヶ所）と、県内11離島
町村の高齢者・障害者及び要援護世帯
の方々に配分いたしました。



▲配分金交付式

「熊本県大雨災害義援金」
「平成19年
新潟県中越沖地震義援金」

ご協力ありがとうございました

去る梅雨前線に伴う大雨により発
生しました「熊本県大雨災害義援金」
並びに、7月16日に発生した「平成
19年新潟県中越沖地震義援金」に対
し、本会がその支援を呼びかけまし
たところ、貴殿（会）を始め多くの
県民から心温まる多額の浄財をお寄
せいただきました。

皆様からお寄せいただきました義
援金は、被災地の災害状況を考慮し
て熊本県共同募金会及び新潟県共同
募金会へ送金いたしましたことをご
報告申し上げますとともに、ご協力
に対し厚くお礼申し上げます。

- 1、沖縄県共同募金会取扱額
183件 4,880,980円
- 2、送付先及び送金額
・熊本県共同募金会 500,000円
- ・新潟県共同募金会 4,380,980円

シリーズ
活動最前線

子育て中の大学生を支える
スマイル☆らんど
(沖縄国際大学)

大学生として勉学に励む
かたわらで、父親として又は母親と
して、自らの子どもを授かり、育児
が必要になっても、大学をちゃんと
卒業できるような友達として支えてあ
げたい。そんな想いを持った友人た
ちの輪が広がって出来たボランティア
アサークル「スマイル☆らんど」。

現在、メンバーは16名程度。親が
講義を受けている間、子どもを大学
内の社会福祉実習指導室内にて無償
で預かり、授業をしっかり受けられ
るようサポートする。1人の子ども
にスタッフ2人をつけるため、メン
バー間でスタッフを調整し、活動を
続けてきた。2007年度は、7名の
学生の子どもが利用し、1歳から小
学生と預かる子どもの年齢も幅広い
「ちょうど人見知りの時期の子ど



▲週1回の集まりに参加する
メンバーと利用するママ学生

もを預かった時、泣かれて困った」
という代表の饒波さん。「学生で出
産しても、大学生生活を続けられる環
境を作っておきたい」という仲間さ
ん。「これまであまり小さい子ども
と接する機会がなかったけれど、自
分の子育ての勉強にもなるかと思っ
て参加した」という真保菜さんと宮
里さん。それぞれ活動の動機は違っ
ても、関わった子どもたちの素直な
反応や成長の過程に喜びを感じると
いう。

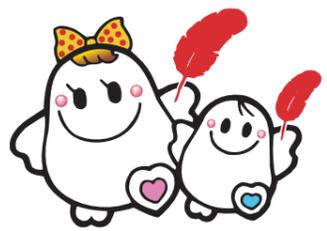
実際に利用した山口さんは「休学
して出産した後、復学しても保育所
のお迎え時間が6時までなので、夜
間の講義で必修科目がある時、子ど
もを保育所から迎えて講義を受けな
ければいけないんです。そういった
時、スマイル☆らんどを利用してい
ます。私は、県外から来ていて、親
や親戚が近くにいないため、本当に
助かります。」とのこと。

時には、大学の先生の子どもを預
かることもあるという。「この学生同
士で助け合ってきた約4年間の活動
は、学生や先生たちの認知度を深め
てきたし、大学内に授乳室が出来る
など、少しずつ子育てし易い環境に
なってきた。これからも、顧問の先
生をはじめ大学と連携を取りながら、
学内専用の保育室が確保できればい
いな」と皆で抱負を語ってくれた。

ありがとうメッセージ

特定非営利活動法人
珊瑚舎（スコーレ）（那覇市）

事業名 夜間中学施設・階段昇降機整備事業
配分額 1,240,000円



社会福祉法人 沖縄県共同募金会
TEL 098-882-4353
FAX 098-882-4270
沖縄県共同募金会ホームページ
<http://www.okishakyo.or.jp/html/kyoubo/>

夜間中学校の開設以来、生徒
とスタッフ一同の念願でした階
段昇降機が今回共同募金からの
配分を受けて設置されましたこ
とに心より感謝申し上げます。
生徒の平均年齢が70歳を越え
ておりますので、1階から3階
までの階段を登るのは大変なこ
とでした。杖を使用している生徒
や膝の手術をうけている生徒も
複数人おりますので、階段昇降
機を見て歓声をあげておりまし
た。ホームルームの時間に設置
の報告をしましたところ「学校
に通うのは楽しみだけど、階段
を思うとため息がでるんだよね。
明日からは使わせてもらえね。」
「ありがたいねえ。いつもは
2階で休んでから登っていたけ
どこれでまっすぐ教室にいけま
すよ」という声があがり、生徒
一同から拍手がわきあがりまし
た。本当にありがとうございました。
大切に使用させていただきます。

沖縄県共同募金会より

福祉施設経営相談

Q&A

労務管理編

今回、回答して頂くのは
本会「福祉施設経営相談支援事業専門相談員」の
社会保険労務士 江尻 育弘先生です。



Q 現在、タイムカードを使って労働時間の管理及び給与の管
理をしています。タイムカードは打刻により一分刻みの端
数が出ますが、これをどのように処理したら良いでしょうか。

A 賃金については、法定5原則というものがあります。（労働基準法
第24条）
①通貨払いの原則、②直接払いの原則、③全額払いの原則、④毎月
一回以上支払いの原則、⑤一定期日払いの原則
この原則からいえば、一分刻みの労働でも賃金を支払う義務が生
じます。ただし、これについては行政解釈が出ています。一か月における時間
外労働、休日労働、及び深夜業の各々の時間数の合計に1時間未満の端数がある
場合に、30分未満の端数を切り捨て、それ以上を1時間に切り上げること。
（昭63.3.14 基発150号）
したがって、一月分の総労働時間を合計した上で、上記の処理をすることに
ついて、問題はありません。
さて、福祉の仕事は人間相手の仕事ということもあり、なかなか時間どおり
に終わることが難しいケースが多々あります。しかし、もし仕事が終わって同
僚と無駄なおしゃべりをたっぷりしたあと、タイムカードを押すなどという行
為があるならば、労使で一度、賃金不払い残業と、誠実労働義務について話し
合ってみるのも良いかもしれません。なぜならば、労働基準法第11条では賃
金について「この法律で賃金とは、賃金、給料、手当、賞与、その他名称の如
何を問わず、労働の対償として使用者が労働者に支払うすべてのものをいう」と
定めています。これは労働でない、手待ち時間でもない、労働から解放され
た時間にまで賃金を支払う義務はないという意味でもあります。

県社協では経営支援室を設置し、
福祉施設の経営相談を受け付け
ています。
社会福祉法人の設立、施設経営、
職員の処遇、会計・税務、法律問
題など、さまざまな相談に対して
2名の経営支援員と3名の専門相
談員が対応しています。

沖縄県社会福祉協議会
経営支援室
電話 098(887)2037(直通)
FAX 098(887)2043(直通)

沖縄市ケアマネ連絡協議会
501名の署名を市に提出

去る12月20日(木)、沖縄市介護支援専門員連絡協議会は、沖縄市長に対し、「沖縄市における地域福祉権利擁護事業の供給体制の整備に関する署名」の提出を行った。

署名活動のきっかけは、ケアマネージャーとして高齢者と関わる中で、日常的な金銭管理を必要としている利用者が大勢いるにもかかわらず、地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)の利用希望に応えられるだけの専門員が不足しているため、制度の利用に繋がらず、結果ケアマネージャーが金銭管理の場面に関わらざるを得ないという現状に困ったことだ。

会長の久保田氏は、「本来の業務ではない金銭預かりをやむなくとは言え、ケアマネージャーが代行したとすれば、利用者本人や家族・親類などからの誤解も招きやすく、精神的にも負担が大きいのでは？」と話す。



▲沖縄市ケアマネ連絡協議会の役員会

集まった署名は501人分。同会のケアマネージャーが介護福祉施設・事業所や医療機関等の関係者に趣旨を説明し、現状の改善を訴えながら集めた署名だ。「もちろん、署名を提出したからといって、すぐに改善が期待できるものではないと思うが、会として行政に現状を訴えながら、どのようにすれば解決できるのかを行政と一緒に考えていくための、きっかけになれば」と久保田氏は言う。一方的な要望ばかりでは決まないと、様々な関係機関を束ねる沖縄市行政のネットワークの活用を期待を寄せながら、同会でも引き続き考えていくとのこと。

災害時の避難所生活、あなたならどうする？

～宜野湾市伊佐区にて「避難所生活シミュレーション」訓練を実施！

本年度、宜野湾市伊佐区では、災害にも強い伊佐区を目指して昨年11月には津波を想定した避難訓練を実施し、平成20年1月26日には、避難所生活での問題をどのように解決するかを体験する「避難所生活シミュレーション」を実施しました。

この訓練は伊佐区自治会を中心に宜野湾市社協、沖縄県社協、宜野湾市によって行われました。

避難所では、いつ自宅に戻れるのかわからないなどのストレスや集団生活だからその衛生問題、介護の問題、プライバシーやトイレ、ベッドの受け入れ、物資の配分など多様な個別の問題が起きてきます。そうした問題を外部の力を活かしながら避難住民自身で一つ一つ判断し決定



▲体育館でご近所同士でグループに分かれて話し合いをする参加住民

し、解決していかねばなりません。今回の訓練の後半では、訓練参加住民(避難住民)102名に対して、40食分の食料が届いたという状況を設定し、どのように配分するかを避難住民同士で協議して決めるということを行いました。

「避難所で起こる困難や問題をより具体的にイメージすることや、「避難所で発生する問題を解決するための合意形成のプロセスを理解する」という内容を体験する訓練となりました。

(訓練プログラム参照) 詳細は「ボランティアねっと」<http://volunch.net/>本訓練は「災害被災者支援力パワーアップ事業」の一環として行われます。

かりゆし長寿大学18期生入学抽選会
競争倍率3倍の狭き門に
当選者の喜び大きく

去る1月23日(水) 県総合福祉センターゆいホールにて、平成20学年度のかりゆし長寿大学校への入学抽選会が行われた。当日は、男性定員80名に対し171名、女性定員80名に対し272名が参加し、当選の赤玉を入れたガラポン抽選器を申し込み順に一人ひとり緊張した面持ちで回した。赤玉を出して、ガッツポーズに喜びを込める人や、歓声を上げる姿の一方、白のハズレ球に肩を落とす姿も見られ、参加者の大学校への思いが様々な形で表れた抽選会となった。



▲緊張しながら抽選器を回す申込者たち

見事当選した4名の喜びのコメントを紹介します。



大城 憲仁さん(68歳)
那覇市・応募1回目

長年、農業をしてきましたが、大学校では、長寿やスポーツに関する知識を得て、有意義な人生にしたいと思っています。



玉城 康夫さん(70歳)
那覇市・応募1回目

26年間、東京や埼玉でホテルマンとして働いてきましたが、昨年6月に沖縄に帰ってきました。子や孫たちのためにも健康で長寿を目指して頑張りたいです。



岸本 初枝さん(71歳)
那覇市・応募5回目

5年前から応募を続けてきました。今回、当選して本当に嬉しいです。主人は、私よりも先に当選して卒業しましたが、私も色んなことに挑戦したいと思います。



山城せつこさん(64歳)
那覇市・応募1回目

友達の紹介で応募しました。当選出来てとても嬉しいです。シーサーを作ったり、園芸を学んでみたいです。

ご案内
アートキャンプ
2008 展 県立美術館にて

3/4~

「障害を持った人たちの作品の中には、我々に新しい気づきや刺激を与えてくれるような素晴らしい才能を秘めた作品が多くある。彼らのそういった作品を障害者の作品という捉え方ではなく、1人のアーティストの作品として紹介していきたい。」そう語るのは、実行委員の金城馨氏(県立島尻養護学校教諭)。

2001年に初めて開催して、今回で3回目となるアートキャンプ。県内の養護学校や高校に勤める美術教諭や障害者福祉施設等の職員で構

成された実行委員によって、助成金を活用しながら開催している。作品を通して出展者の持つ世界に触れてもらいたいからと、限定した作者の作品を数多く展示しているところは、多くの障害者の作品を一度に紹介するという作品展とは異なっており、楽しみ方もまた違う。

今回、20年以上に渡って世界を巡り、アウトサイダー・アートモチーフに作品や人物を撮り続けてきたマリオ・デル・クルト氏の写真展とのコラボレーションとなっている。

3月29日(土) まで約3週間の開催期間で観覧料は無料となっている。ぜひ、多くの人に彼らの独自の表現世界を観て欲しい。

素朴の大砲
Art Camp 2008 展
Mario Del Curto 写真展
沖縄県立博物館・美術館
3月4日(土) - 29日(土)

生活福祉資金貸付制度

更生資金 生業費の紹介と貸付の流れ

本制度は、低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、民生委員の援助指導のもと、必要な資金の貸付を行い世帯の更生、自立助長を図り安定した生活を送れることを目指しております。

必要に応じて、様々な資金種類がございますが、今回は「更生資金 生業費」についてご紹介いたします。

※ご相談については、お近くの民生委員、または市町村社協へお問い合わせ下さい。

資金種類	更生資金	生業費
主な用途内容	生業を営むのに必要な経費	
対象	低所得世帯 障害者世帯	
貸付限度額	低所得世帯 (280万円) 障害者世帯 (460万円)	
利子	3%	

事例 更生資金 生業費を活用して

世帯構成 (Aさん38歳・妻35歳・子12歳・子9歳)
借入額 1,200,000円
返済回数/月額 84回/15,790円
貸付内容

Aさんは、漁業にて生計を立てているが、現在使用している船が老朽化してきた。事業自体は順調であるが、まだ小さな子供を抱えており、養育費がかかるため、新たな船の購入資金が捻出できないという。

そこで民生委員に相談したところ、本資金の紹介を受け、市町村社協担当との相談・申込を経て、船の購入費の一部を借入することができた。

この資金によりAさんは、遠くの漁場まで船を出すことが可能となり、世帯の収入安定へとつながった。

「住宅改修」

「高齢者・障がい者が使いやすい住宅づくり」

去る一月三十日(水)に沖縄県総合福祉センターの視聴覚室で「高齢者住宅の改修研修」講座を開催しました。

定員二十名を超え二十七名の方が参加されました。

一般市民の方や介護従事職の方等いろいろな職種の方々の参加があり講座が始まりました。

講座内容は、実際の住宅改修の写真等を交えながら介護保険や今の住宅改修の現状等高齢者や障がい者の住まいをどのように改修するか又、改修の必要性等のポイントを押さえながらの講座でした。

「実際・・・」

「住宅改修」と聞いてピンとこない方もありませんが単なるリフォームではないと言う事です。住む方の病状や体の状態やどんな動作の時に困っているのか?どうすれば自立に繋がるのか?住宅環境等を視ながら行うのが「住宅改修」です。

高齢者に関らず障がい者の方々等

「次回の講座は・・・」

平成二十年五月より講座が開催致します。お馴染みの「介護講座体験ガイド」をご覧ください。

各市町村の社会福祉協議会や各市町村役場の介護課等に四月からパンフレットを配布致します。ご自宅の近い場所か沖縄県総合福祉センター東棟一階「沖縄県介護実習・普及センター」の窓口にて配布いたします。講座申し込み等は、四月以降からとなります。

●お問い合わせ

沖縄県介護実習・普及センター
電話 098-882-1484
FAX 098-882-1486
城間・又吉 までご連絡ください。

住宅の増改築資金について

問 高齢になり、段差での転倒が不安になり、トイレや浴室をバリアフリーに改築したいのですが、金銭的なゆとりがありません。融資制度はありますか?

答 社会福祉協議会で取り扱っている生活福祉資金貸付制度に、住宅資金の貸付があります。

○住宅資金

低所得者世帯、障害者世帯または高齢者世帯(日常生活上療養又は介護を要する65歳以上の高齢者の属する世帯)に対し、住宅を増築、改築、拡張、補修、保全するために必要な費用。

ただし、高齢者のみの世帯の場合、別世帯の親族等が連帯借受人になり、出来るだけ保証能力の高い連帯保証人をつける必要があります。

貸付限度額 250万円以内

据置期間 6ヶ月以内

償還期間 7年以内

貸付利息 3%

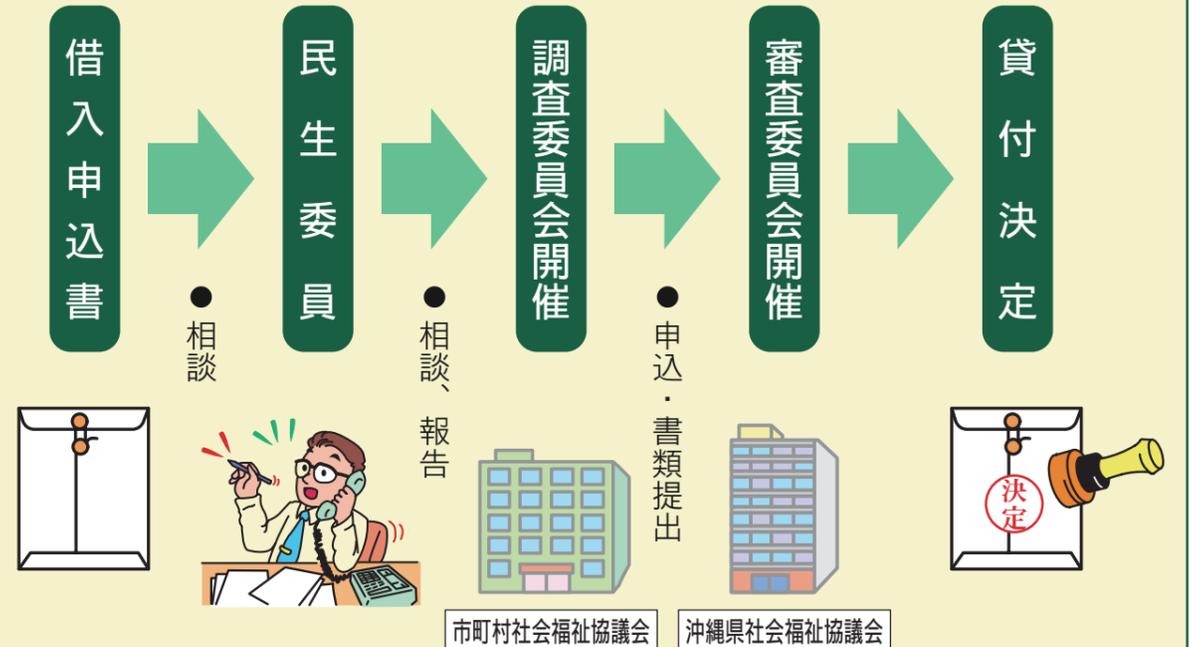
※地域の民生委員が市町村社会福祉協議会にお問合わせください。

○その他の住宅資金貸付及び介護保険制度の介護サービス

※市町村においては、介護保険の要介護認定で非該当(自立)と判定されたが、住宅改修が必要と認められた65歳以上の方を対象に「住宅改修費の助成」制度があります。改修費(一定の基準額を超える場合は基準額)の1割を負担していただきますが、審査がありますので、事前に市町村担当窓口までお問合わせください。

※介護保険制度の介護サービスの中で、心身の機能が低下した高齢者の住宅の小規模な改修に対して、その費用を支給する制度があります。20万円を限度額としています。(かかった費用の1割は自己負担)。但し、1回限りの支給となります。

申込から貸付までの流れ



これまでの試験の合格者数等

	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (B/A)
第1回 (H10年度)	207,080	91,269	44.1%
第2回 (H11年度)	165,117	68,090	41.2%
第3回 (H12年度)	128,153	43,854	34.2%
第4回 (H13年度)	92,735	32,560	35.1%
第5回 (H14年度)	96,207	29,508	30.7%
第6回 (H15年度)	112,961	34,634	30.7%
第7回 (H16年度)	124,791	37,781	30.3%
第8回 (H17年度)	136,030	34,813	25.6%
第9回 (H18年度)	138,262	28,391	20.5%
第10回 (H19年度)	139,006	31,758	22.8%
第1回～第10回合計	1,340,342	432,658	—

今年で10回目を数える「平成19年度 介護支援専門員実務研修受講試験」の合格発表が、去る12月10日全国一斉に行われました。全国で約14万人が受験し、合格者数は約3千人で合格率は22・8%でした。一方、沖縄県は受験者数1、440人中合格者数256人で、合格率は17・8%となりました。職種別にみた合格者の割合は、介護福祉士(58・9%)、看護師・准看護師(13・1%)、相談援助業務従事者・介護業務従事者(8・6%)の順となっています。

第10回介護支援専門員実務研修受講試験の合格者数等

	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (B/A)
第10回 (平成19年度) 全国	139,006人	31,758人	22.8%
沖縄	1,440人	256人	17.8%

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2007/12/h1225-4.html>

介護支援専門員実務研修受講試験 結果発表

福祉の職場

説明・面接会を終えて 求職者545人が来場



▲会場には多くの求職者の方々が詰めかけました

去る1月22日(火)、沖縄コンベンションセンターにおいて「福祉の就職総合フェア2008 福祉の職場説明・面接会」(主催・沖縄県、沖縄県社会福祉協議会・名護市社会福祉協議会)が開催されました。求職・求人活動の支援を目的に毎年開催されるこのイベント、今年は例年よりひとまわり大きい展示場を会場に、昨年の37事業所を大幅に上回る57の事業所の参加を得ました。また、県外3府県から特別養護老人ホームを中心に6事業所が参加したことも初めての試みでした。そのほか、ハローワーク、ナースセンター、各種職能

団体による相談コーナーを設置し、来場した求職者数は545人(内学生48人)に上りました。

今回は当日来場した三人の求職者の方に会場でインタビューを行い、説明・面接会に対するそれぞれの意見込みを語っていただきました。

▼イベント規模拡大に期待充分!



▲真剣な表情で担当者の話を聞く渡久地さんと内兼久さん

現在大学四年生の渡久地さん(写真右)と内兼久さん(同左)の二人。

渡久地さん「今日は高齢者のデイサービスや障害者の就労支援施設を中心に5ヶ所ほど面談する予定です。今回二度目の参加です。」

内兼久さん「私も5ヶ所ほどの面談を希望しています。昨年三年生の時にも参加しましたが、前回より多くの事業所が参加していて、分野別

に配置されているのも分かりやすく動きやすいと思います。」

お二人とも三年生のときから就職活動をしている熱心な学生さん。最後に要望として、他の分野に比べて求人募集が遅い福祉分野に対し、もう少し早い時期に面接会を開催してほしいとの貴重な意見もいただきました。事業所担当者の話に熱心に耳を傾ける姿が印象的なお二人でした。

▼求職者にとってありがたい催し



▲積極的に質問を投げかける杉本さん

人材研修センターのチラシで開催を知り参加したという杉本さんにもお話を伺ってみました。

杉本さん「児童に関わる仕事を希望しており、5、6ヶ所面談をしたことを考えています。今日は一度に多くの事業所の方と直接お話できる絶好の機会。求職者にとってありがたい催しだと思います。」

事業所担当者へ積極的に質問する姿勢に、福祉の仕事に対する熱い思いが感じられた杉本さん。ぜひ大きな収穫が得られることを期待しています。

一方、求人事業所からは「全体的にしっかりと情報収集をしている方が多いように感じられた。今日面談をした方の中からぜひ採用したい。」という感想や「独自で面接を実施するのは違い、事業所について説明をしながら多くの求職者の方々に会うことができない良い機会だ。」という意見が聞かれました。しかし反面、「圧倒的に学生の方が多く、すぐにでも働ける方が少ないのが難点。また、2月下旬にならないと求人の有無が確定しないこともあり、開催時期をもっと少し遅くしてほしい。」といった要望もありました。これは福祉分野の求人にも年度契約型・退職者補充型の採用形態が多い現状を表しているといえるでしょう。現に、県外では福祉に携わる人材が採用活動を早期に開始する他分野・他業種に流出しているとの報告も出されています。福祉への想いを持つやる気に満ちた人材、また求人事業所双方にとってよりよい雇用環境を整備していくこと。これが今後の福祉の職場にとって重要な力ギとなるのではないのでしょうか。

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 防災・災害のボランティア活動も補償
- ボランティア自身の食中毒や熱中症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

保険料(掛金) Aプラン 280円 Bプラン 460円 Cプラン 650円
天災危険補償タイプもあります。

ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の交通事故によるケガを補償!

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事会社〉日本興産損害保険 株式会社



協誌 1
民報 第24号
県民情報
ー 第24号

暮らしに福をもちたす人々

沖縄県民生委員
児童委員協議会
事務所
沖縄県総合福祉センター
連絡先
TEL.(098)882-5813
FAX.(098)882-5814

平成19年度民生委員児童委員リーダー研修会に参加して

今日における民生委員・児童委員活動の方向性を探るとともに、地域における活動のリーダーの養成・資質向上を目的に毎年開催されております「平成19年度民生委員児童委員リーダー研修会」に各地区より代表6名を派遣いたしました。

今回は、参加者6名の報告書をまとめてご紹介させていただきます。

- ①山城喜美子（那覇市第2民児協）
- ②比嘉 敬吾（名護市第2民児協）
- ③喜屋武光廣（西原町第1民児協）
- ④石川 清敏（与那原町民児協）
- ⑤宮里 敬一（宮古島市平良第2民児協）
- ⑥山田 サダ（石垣市第3民児協）

1日目(平成20年1月15日)

1日目は、高崎健康福祉大学助教授の金井敏氏より「民生委員・児童委員、民児協活動の課題と強化方策」と題して講演がありました。金

児童委員協議会の堀江正俊会長より講演があり、与えられる福祉から自ら求め、利用する福祉へ、地域住民一人ひとりの自立が地域福祉の原点であり、共に生きる、共に歩む風土づくりが大切であると述べられ、地域の関係者とともにどのように活動をすすめていくことが有効か検討しました。

また、民生委員児童委員も地域住民の一人であり、住民もまた一人ひとりが地域の一員であり、人格は平等・対等である（要援護者は特別な存在ではない）ことや、地域住民一人ひとりの自立が地域福祉の原点であると結ばれました。

3日目(平成20年1月17日)

さらに、3日目は行政説明と全民児連顧問の光田鈔氏による特別講演等があり、あらためて多くの仲間と共に研鑽を積み、民生委員児童委員として様々な課題解決に向け、安心・安全な地域づくりに努めていきたいと思えます。

3日間の内容の大変濃い研修ではありましたが、他府県の参加者との交流を通して、リーダーとは、実行力と行動力を持ち、待つ姿勢ではなく「歩み寄る姿勢」を持ち、常にプラス思考で街を動かしていこうという姿勢を学びました。研修で得た多

井氏によれば、地域福祉が介護保険の導入により市民活動、事業者と市町村のパートナーシップの時代へと移り変わってきたことや、この中で民生委員児童委員の仕事は、人と人をつなぐ、地域をつなぐ、安心・安全なまちをつくることで行政協力活動と個別支援活動などの自主活動に分けられると説明がありました。

また、90周年記念活動強化方策の説明では、気がかりな人や見込に頼る人がいない地域住民を発見し、すすんで声をかけ、相談にのり、福祉サービスにつなぎ見守るなど継続して支援していくことや、地域住民の立場にたって個人の秘密を守り、誠意を持って活動をすることの重要性を強調していました。

2日目(平成20年1月16日)

2日目は「地域で住民のくらしを守るために」と題して、島根県民生委員

くのことを地区民児協へ伝達していきたいと考えております。

民生委員児童委員は地域住民から信頼されること、地域住民に展望を与えること、地域活動のリーダーになること、また、相互に調和と融和を持つことの4点を心にとめ、社会奉仕の精神をもって、助けを必要とする人々のために心身の支えとなり、地域福祉の向上に努めてまいります。

最後に、本研修会への参加の機会を与えていただいた地区及び県民児協の皆様へ感謝申し上げます。

お知らせ

沖縄県民生委員児童委員協議会新役員が決定しました！

- 会長 宮国 泰雄 (全 県)
- 副会長 長堂タツ子 (北部地区)
- 副会長 玉城 宏 (中部地区)
- 副会長 前城 秀男 (南部地区)
- 副会長 山城喜美子 (那覇地区)

平成19年度県民児協第3回総会並びに民児協会長研修会日程が決定しました！

1. 期日／平成20年3月17日 (月)
2. 会場／総合福祉センター ゆいホール

全国児童委員研究協議会日程が決定しました！

1. 期日／平成20年3月13日(木)～14日(金)
2. 会場／東京ベイホテル東急

市町村民児協事務局担当者会議日程が決定しました！

1. 期日／平成20年3月6日 (木)
2. 会場／総合福祉センター 403研修室

市町村民児協活動レポート

ボランティア劇団「ちむぐる」活動開始

(南風原町委員民生児童委員連合会)

今回は、脚本作成・演出・役者まで民生委員・児童委員が中心となってボランティア劇団を立ち上げ、高齢者・子育てサロンの利用者に鑑賞してもらおう機会を企画された南風原町民児協取材してきました。

南風原町は、高齢者いきいきサロンと子育てサロン活動を積極的に取り組んでいる地域で知られています。その中でも与那覇区の活動の特徴は、両サロンとも同じ日に同じ場所（与那覇公民館）で開催され、日常的に世代間交流の機会がつけられていることです。



▲すばらしい演技の連続、本当に民生委員!?

ボランティア劇団の名前は、「ちむぐる」。民生委員・児童委員の役割や活動を広く地域住民に紹介し、地域福祉の増進を図ることを目的に昨年5月に結成された劇団です。昨年12月21日（金）に与那覇高齢者サロンと子育てサロンの合同忘年会において、短編人情劇「アンマー」を初上演されました。その模様をご紹介します。

当日は、区内の高齢者約20名と子育てサロンの8組の親子、民生委員・児童委員や地域ボランティア等約50名の参加がありました。前民生委員・児童委員の与那嶺信武さんが作・演出を手

劇「アンマー」は、戦後の米軍統治下の沖縄。アメリカ人と駆け落ちした娘が20年ぶりに帰沖し、二人の結婚を認めてもらうストーリー。二人の間には10歳の子（メリー）がいて、夫やその家族から可愛がられ楽しい生活を送っていることを知る。しかし、母（アンマー）はなかなか許してくれず、二人はあきらめ米国に帰ろうとするが、孫娘メリーの「いつまでもメリーのおばあちゃんだからね！元気でね」の一言に心を開き、娘と夫、孫を家族として迎え入れる人情味あふれる現代劇です。



▲感動のフィナーレ

戦後の復興期と共に生き、力強く生き抜いてきた沖縄女性「アンマー」の姿と我が身を重ね合わせた多くの参加

者が、主人公アンマーの素人とは思えない迫真の演技に、ハンカチで涙をぬぐいました。芝居する側と観客とが見事に一体感を共有できたすばらしいものでした。

劇団の活動を通して、単にうちない芝居を楽しんでもらうというものだけに止まらず、地区担当の民生委員・児童委員と顔見知りになることで、日々の支援活動にもつながっていくねらいがあるようです。

今後、町の敬老会などでの上演を企画しており、南風原町内の高齢者を対象とした福祉保健施設や高齢者サロンなど各字でも上演を考えているようです。